

(記載例) 確認申請書 第二号様式 (第四面) 建築物別概要

(第四面)

建築物別概要

【1. 番号】

【2. 用途】 (区分 )  
(区分 )

(略)

【8. 建築設備の種類】 昇降機, 電気, ガス, 給排水衛生, 非常用照明, 避雷針, 屋内消火栓, 連結送水管, 自動火災報知, 誘導灯, 消火器, 換気設備

(略)

【8. 建築設備の種類】の別紙

(居室毎の機械換気設備)

室名	床面積 m <sup>2</sup>	平均天井高 h	気積 m <sup>3</sup>	換気種別	給気機による 換気量(A) m <sup>3</sup> /h	排気機による 排気量(B) m <sup>3</sup> /h	換気回数 n
1F居間	24.30	2.50	60.75	給気機 及び 排気機	40.00		
1F台所	8.28	2.50	20.70		20.00		
1F和室	17.40	2.50	43.50		30.00		
1F廊下	19.87	2.67	53.05			80.00	
2F洋室1	10.00	2.40	24.00		20.00		
2F洋室2	10.00	2.40	24.00		20.00		
2F主寝室	14.91	2.40	35.78		30.00		
2F廊下	14.90	2.40	35.76			70.00	
合計			297.55			160.00	150.00

(天井裏等への措置)

室名	1F居間	1F台所	1F和室	1F廊下	2F洋室1	2F洋室2	2F主寝室	2F廊下
天井裏等								
2F小屋裏	気密層							
1F天井裏 (2F床裏)	給気機による給気量(A) > 排気機による排気量(B) により, 1F天井裏(2F床裏)は居室より負圧に措置済							
1F床裏	気密層							
外壁	気密層							
...	...							
間仕切壁1	通気止		通気止					
間仕切壁2	通気止	通気止						
...	...	...	...	...	...	...	...	...
収納			第3種 材料使用		第3種 材料使用	第3種 材料使用		
...	...	...	...	...	...	...	...	...

(注) 上書式は, 1階及び2階の各室に給気機を設け, 1階及び2階の廊下に排気機を設けて, 建築物全体の換気計画を一体的に計画した場合の記入例である。また, 2F小屋裏, 1F床裏及び外壁と居室等との間には気密層を設け, 間仕切壁には通気止を設けて居室等と区画することを想定している。独立した複数のエリア毎に換気計画を計画する場合には, それぞれのエリア毎に分けて気積, 換気種別, 給気量, 排気量, 天井裏等の措置, 換気回数を記入し, 全エリアについて明示する必要がある。

